

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-551	12	盛高	41.1	0.6	1	室町末	乱	3.2	0.8	0.9	0.5	429	東京200235	昭51	D・3-542	19	無銘	44.2	1.2	1	江戸中	乱	2.7	0.7	1.8	0.6	376	秋田9247	平15

さび、刃こぼれなし。板目肌。直刃調に乱れ交じる。生茎。栗尻。金塗ハバキ。「豊州高田住平盛高」。「永正三年八月日」。豊後刀。1506年、信長生まれる直前。



大河ドラマ  
キリンの頃

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目肌あらわれる。大乱れ。中切先、大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅二重ハバキ。どっしりとした脇差。



どっしりした脇差

F・3-550	29	正廣	23.8	0.0	1	室町末	直	2.6	0.6	1.0	0.4	161	山梨18911	昭56	D・3-541	18	無銘	58.1	1.8	1	室町中	乱	3.0	0.7	1.7	0.5	522	愛知39100	昭46
---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----

さび、刃こぼれなし。平造。空目肌。直刃に一部二重かかる。表、龍の彫り。裏、棒樋掻き流し、添え樋。生茎。栗尻。銀着せハバキ。「相模国住正廣」。「直江山城守所持也」。



龍の彫

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目よく詰む。直刃に少し乱れる。小切先、大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅二重ハバキ。長めの白鞘脇差刀。値段の割には良い脇差。



あと1.9cm  
で刀

A・3-549	58	茂虎	71.8	2.0	1	江戸末	乱	2.5	0.6	1.3	0.4	616	山梨18915	昭56	D・3-540	18	在銘	48.5	1.0	2	室町末	乱	2.5	0.7	2.0	0.6	477	熊本24877	昭42
---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----

さび、刃こぼれなし。杖鍛え。変化のある小互の目。生茎。栗尻。銅ハバキ。「森茂虎」。「嘉永二年八月日」。1849年桜田門外の変。日刀保認定書。



桜田門  
外の変

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目肌。尖り互の目、三本杉風。小切先、大丸。生茎。尻張。銅ハバキ。ヤスリ目みえず。「濃州住兼(以下切れ)」。鮮明な刃文。



刃文鮮明

D・3-548	18	兼常	51.0	1.6	1	江戸初	乱	3.1	0.7	1.8	0.5	447	静岡40429	昭43	C・3-539	31	眞光	68.2	1.8	1	室町末	乱	2.8	0	1.6	0.4	514	東京265681	平5
---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	----------	----

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目流れて空目がかかる。小互の目連なる。両面棒樋丸留め。生茎。栗尻。銀着せハバキ。刃文鮮明。美濃の刀工「兼常」。信長と関係深し。



信長と  
関係深し

昭和13年製軍刀。さび、刃こぼれなし。板目流れる。直刃に小乱れ交じる。小切先。生茎。栗尻。真鍮に銅着せハバキ。「眞光」。家宝の刀を持って戦地へ。



戦国時代

E・3-547	24	無銘	52.5	1.2	1	江戸初	乱	3.0	0.7	2.0	0.5	538	三重19299	昭40	F・3-538	31	無銘	26.3	0.4	1	江戸末	乱	2.8	0.7	1.6	0.3	514	静岡29069	昭39
---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----

さび、刃こぼれなし。空目肌。互の目乱れ。生茎。鋸形。二重ハバキ。黒ツヤ鞘。鉄丸ツバ。目貫般若。下緒付。竹と笹の彫金の小柄付。



竹と笹の小柄付

さび、刃こぼれなし。鶴の首造。板目に杵がかかる。直刃に乱れ交じる。生茎。栗尻。銅ハバキ。松代拵。黒石目鞘。小判形鉄ツバ。揃いの小柄、こうがい付。



小柄、  
こうがい付

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
F・3-546	18	兼秀	23.0	0.0	1	昭和	乱	2.4	0	1.4	0.3	143	岐阜085410	令1	E・3-537	31	無銘	35.4	0.8	1	室町末	乱	2.7	0.5	2	0.3	222	兵庫96237	昭57

さび、刃こぼれなし。平造。板目流れて杵がかかる。直刃に湾れかかる。小切先。鮮明な帽子。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。木ハバキ。「兼秀」。よく出来た短刀。昭和天皇に献上刀。



昭和天皇  
献上刀工

さび、刃こぼれなし。菖蒲造。板目詰んで空目あらわれる。互の目連なる。大乱れ。沸えからむ。生茎。栗尻。金二重ハバキ。小ざ刀拵。朱と黒の変わり塗鞘。小判形鉄ツバ。川と虎図の小柄付。



小柄付の  
きれいな刀

D・3-545	18	無銘	53.4	1.1	1	江戸中	乱	2.7	0.7	1.9	0.5	486	広島1741	昭26	D・3-536	19	兼宗	55.7	1.1	1	昭和	乱	2.8	0.7	1.8	0.5	474	北海道9295	昭29
---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----	---------	----	----	------	-----	---	----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目肌。大乱れひたつらかかる。中切先、大丸。生茎。栗尻。銀祐乗ハバキ。ヤスリ目みえず。三つ頭鮮明。大名登録。



三つ頭  
鮮明

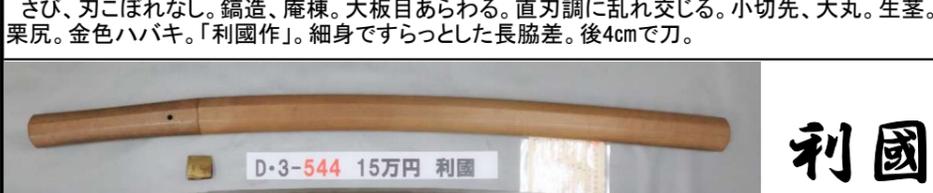
さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目詰んで梨子地肌。互の目連なる。中切先、大丸。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。銅ハバキ。「関兼宗作」。戦国時代より続いている刀匠。



兼宗

D・3-544	15	利國	56.5	1.2	1	江戸初	乱	2.7	0.8	1.8	0.5	417	岡山89183	昭51	E・3-535	22	信国	59.0	2.1	1	室町初	乱	2.9	0.8	1.9	0.4	498	埼玉2444	昭26
---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。大板目あらわれる。直刃調に乱れ交じる。小切先、大丸。生茎。栗尻。金色ハバキ。「利國作」。細身ですらつとした長脇差。後4cmで刀。



利國

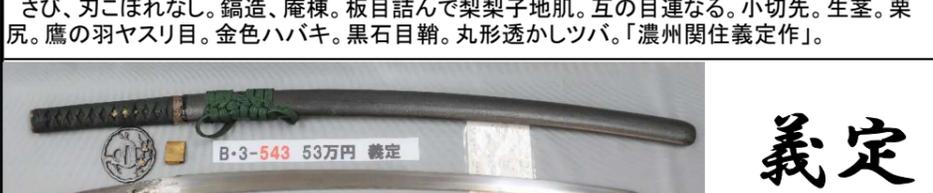
さび、刃こぼれなし。板目流れる。乱れ交じる直刃。鑄筋に極細の樋あり。生茎。栗尻。黒塗ツヤ鞘。銅ツバ松図。下緒付。「信国」。信国派は鎌倉から明治まで全国に広まった。



信国派

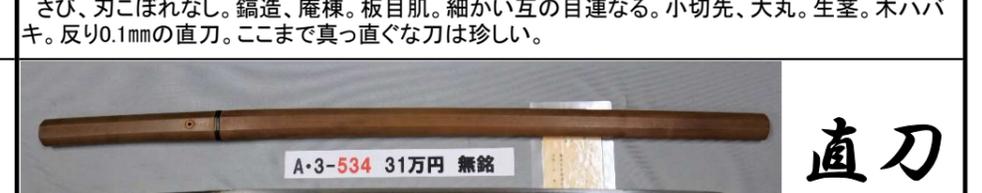
B・3-543	53	義定	67.4	2.2	1	昭和	乱	3.2	0.9	1.9	0.6	868	東京256744	平3	A・3-534	31	無銘	64.7	0.1	3	江戸初	乱	3.0	0.7	1.8	0.4	586	徳島8419	昭38
---------	----	----	------	-----	---	----	---	-----	-----	-----	-----	-----	----------	----	---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目詰んで梨子地肌。互の目連なる。小切先。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。金色ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。「濃州関住義定作」。



義定

さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目肌。細かい互の目連なる。小切先、大丸。生茎。木ハバキ。反り0.1mmの直刀。ここまで真っ直ぐな刀は珍しい。



直刀

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-533	30	吉勝	52.2	1.1	1	江戸初	直	3.1	0.7	2.1	0.4	514	東京27553	令2
A・3-523	26	長光	63.7	1.8	1	昭和	乱	3.1	0.7	1.9	0.5	694	兵庫90362	昭53

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目によく鍛えた地鉄を用い直刃をみごとに焼いている。「筑州住源信国吉勝」。延宝(1673年)福岡の巨匠。銃砲刀剣研究会鑑定書。

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。無地肌。互の乱れ。大切先、大丸。生茎。尻張。左上がりヤスリ目。銅ハバキ。陸軍受命刀匠「長光作」。



B・3-532	57	盛重	65.3	2	3	室町中	乱	3.0	0.7	2.0	0.4	632	北海道8056	昭29
B・3-522	46	長船	69.6	1.0	3	江戸初	乱	2.8	0.7	1.6	0.5	650	青森3505	昭28

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目流れる。互の目乱れ。中切先、小丸。生茎。栗尻。右下がりヤスリ目。銅に銀塗ハバキ。黒塗リツヤ鞘。丸ツバ松岡。下緒付。「平盛重」。

さび、刃こぼれなし。板目流れて柁がかかる。直刃に小互の目足入り湾れがかかる。金色ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。縁に家紋3ヶ。表銘「備前国住長船」。裏銘「明暦三年九月日」。



A・3-531	51	無銘	67.4	1.0	1	江戸中	乱	3.0	0.7	2.1	0.5	650	神奈川80684	平31
D・3-521	12	無銘	43.5	1	1	室町末	乱	2.7	0.7	1.9	0.5	376	埼玉25288	昭42

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目流れて子杓交じり。互の目乱れ。中切先、小丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅ハバキ。地肌面白く見応えあり。

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目詰む。互の目連なる。中切先、大丸。生茎。栗尻。ヤスリ目ないが、鉄味よく時代を感じる。横線入銅ハバキ。初心者向け。



E・3-530	22	無銘	31.8	0.5	1	江戸末	乱	2.9	0.7	1.9	0.5	267	埼玉28305	昭43
F・3-519	20	正秀	18.1	0	1	江戸末	乱	2.2	0.6	1.4	0.3	117	静岡71178	平30

さび、刃こぼれなし。鶴の首造。板目詰んで杓目たつ。直刃に互の目。生茎。栗尻。赤茶ツヤ鞘。小柄、こうがい付き珍品。

さび、刃こぼれなし。平造。梨子肌。鮮明な互の目乱れ連なる。帽子は返し深く珍品。生茎。劔形。左上がりヤスリ目。真鍮ハバキ。江戸三作の「水心子正秀」銘入り。



A・3-529	46	忠綱	65.8	1.2	1	江戸初	乱	3.2	0.8	2.3	0.5	784	茨城12501	昭35
D・3-518	17	祐定	59.6	1.3	1	室町末	乱	2.7	0.8	1.7	0.5	498	東京168492	平30

さび、刃こぼれなし。板目に互の目丁子皆焼かか。生茎。栗尻。銀塗ハバキ。「粟田口近江守忠綱」。「元禄十三年二月日」。1700年松尾芭蕉活躍の頃。

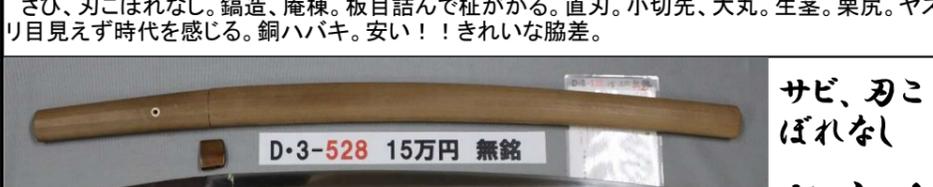
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目肌。互の目丁子。小切先。生茎。栗尻。銅ハバキ。鍛え割れ数ヶ所の為格安。「備前長船祐定」鮮明な銘。あと0.4cmで刀!



刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-528	15	無銘	51.8	1.1	1	江戸中	直	2.8	0.6	1.8	0.4	389	千葉054975	令2
B・3-515	53	兼吉	67.3	1.4	1	昭和	乱	3.1	0.8	2.1	0.5	786	東京321567	令1

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目詰んで柁がかかる。直刃。小切先、大丸。生茎。栗尻。ヤスリ目見えず時代を感じる。銅ハバキ。安い!!きれいな脇差。

さび、刃こぼれなし。無地肌。互の目丁子乱。大切先、大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。黒塗ツヤ鞘。二つ木瓜形鉄ツバ。「刻印関 吉田兼吉作」。折れず曲がらずを証明した関の刻印。



F・3-527	15	無銘	28.6	0.3	2	江戸末	乱	3.0	0.8	2.0	0.4	348	長野83661	平12
B・3-514	57	兼明	66.8	1.7	1	昭和	乱	3.1	0.9	2.0	0.5	752	愛知76677	平30

さび、刃こぼれなし。菖蒲造。無地肌。湾れ。大切先、小丸。生茎。栗尻。左上がりヤスリ目。金着せハバキ。作り立て同様な白鞘。重量感のある短刀。

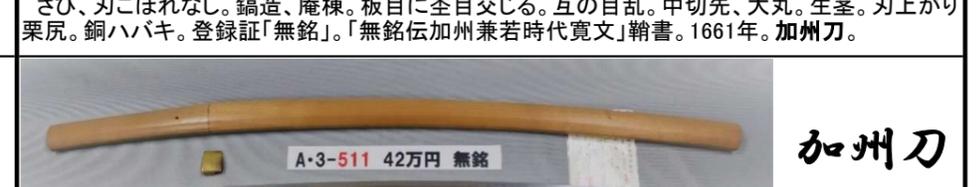
さび、刃こぼれなし。無地肌。鮮明な互の目乱れ連なる。小切先、大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。きれいな黒塗ツヤ鞘。丸形透かし鉄ツバ。「濃州住栗山兼明」。



D・3-526	11	無銘	52.4	1.6	1	室町末	乱	2.8	0.8	1.4	0.4	441	東京231559	昭59
A・3-511	42	無銘	67.6	1.6	1	江戸初	乱	3.1	0.8	1.9	0.5	664	東京220901	昭55

さび、刃こぼれなし。菖蒲造、庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目連なる。小切先。生茎。栗尻。銅ハバキ。刀身はあまりきれいでない為格安!。

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目に杓目交じる。互の目乱。中切先、大丸。生茎。刃上がり栗尻。銅ハバキ。登録証「無銘」。「無銘伝加州兼若時代寛文」鞘書。1661年。加州刀。



B・3-525	70	無銘	70.7	1.6	3	江戸初	乱	3.1	0.8	2.1	0.5	756	京都59796	令1
B・3-509	59	祐定	68.6	1.6	1	室町末	乱	3.0	0.8	1.8	0.5	684	新潟7686	昭29

さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目乱れ。大切先、大丸。生茎。尻張。刻み入り銅ハバキ。黒塗リツヤ鞘。丸形透かしツバ。刀全体に芸術性あり。

さび、刃こぼれなし。板目流れる。鮮明な互の目乱れ蛙子なる。小切先、大丸。生茎。栗尻。きれいな茶印塗鞘。丸形透かしツバ。「備前長船住祐定」。有名な刀匠。

